

平成30年度教育研究構想図

学校教育目標

一生懸命がすばらしい

～夢と志を抱き、仲間とともに、主体的に生きる子どもの育成～

めざす生徒像

- 夢や志を抱いている子ども
- 自分自身が好きで、尾道、広島そして日本が大好きな子ども
- みんなで力を合わせて、課題を解決できる子ども
- 誠実でフルスイングできる子ども

確かな学力

- ・「基礎・基本」の徹底
- ・思考力判断力表現力の育成
- ・主体的な学び
- ・特別支援教育の充実

豊かな心

- ・キャリア教育の推進(社会貢献力)
- ・自己肯定感の向上
- ・自己指導力(自律)の育成

健やかな体

- ・部活動の充実
- ・体力づくりの推進
- ・食育の推進

研究主題

思考力・判断力・表現力の育成

— 生徒が自信をもち、主体的に学びに向かう指導の工夫 —

研究内容

思考力・判断力・表現力を育成する指導方法の研究

- ①単元を通じた課題設定の研究
- ②主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」の研究と実践
- ③PDCAサイクルを用いた教師の授業力の向上

自信と意欲を持たせる指導方法の研究

- ①自己肯定感、達成感を持てる授業改善(生徒指導の三機能を生かした授業)
- ②学習環境・学習規律の徹底(生徒指導部との連携)
- ③学びの基盤づくり(読書・視写活動)

校内授業研究の方法に係る研究

- ①授業評価表を活用した授業分析
- ②事前研修の工夫
- ③テーマに沿った学習指導案の作成と実施
- ④個に応じた指導方法の工夫

教科

道徳

特別活動

総合的な学習の時間

全教科において実践的な研究に取り組み、学力向上を図る具体的な指導方法等を研究する。

言語活動の充実・読書活動の充実

【言語技術の活用】
(発表の仕方・説明の仕方・話の聞き方・話し合いの仕方等)

学級集団づくり

【学びあう集団づくり】
【学習規律の徹底】

積極的生徒指導の充実

【生徒指導の三機能の活用】
(自己存在感・共感的人間関係・自己決定)

本校教育活動の基本とする取組み

家庭との連携

基本的な生活習慣の定着

【○朝食の習慣化 ○睡眠時間の確保 ○読書・家庭学習の習慣化】

小学校との連携

生徒指導連携の推進

【○生徒指導・家庭学習統一指導項目の設定 ○授業交流 ○学習指導方法の統一】

尾道中学校教育研究会との連携

評価問題集の活用

【○評価問題を位置付けた授業】